

ワグマにゴ用心!

大阪府域において、これまでにツキノワグマの目撃情報が寄せられています。事故を防ぐためには、以下の点を心がけ、ツキノワグマとの遭遇を避けることが最も重要です。

◎ 出会わないために

山へ行くときは鈴やラジオを持つ!

鈴やラジオ等音の出るものを携行したり、話し声を立てたりして人の気配をツキノワグマに伝えるようにします。特に雨の日、川沿いは音が伝わりにくいので、大きめの音を立てるように心がけましょう。

夕方から早朝までの外出は注意!

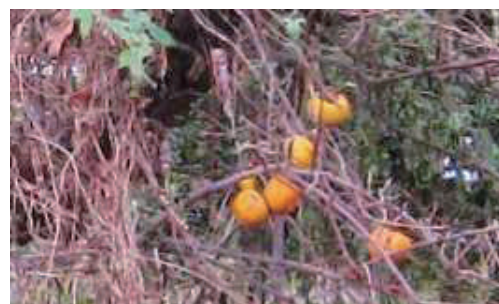
山あいの住宅地では、ツキノワグマが行動することが多い夕方から翌朝にかけての時間帯に外出する際には十分注意しましょう。



◎ 寄せ付けないために

柿や栗の木の実を放置しない!

ツキノワグマは柿や栗の実を狙って人家周辺に居つくことがあります。柿や栗等の実は残さずに採り、利用しない果樹は思い切って伐採しましょう。また、果樹園や養蜂場は、ツキノワグマ用の電気柵で守りましょう。



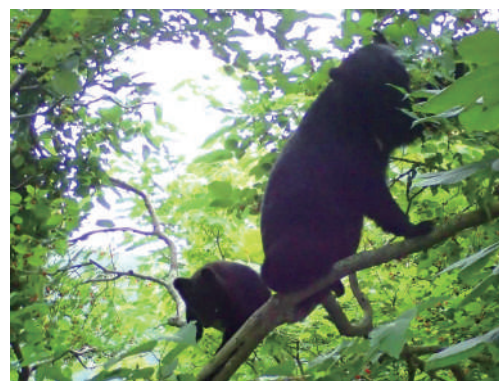
◎ 出会ってしまったら

背を向けずに、ゆっくり離れる!

大声を出したり、急激な行動を避け、出来るだけツキノワグマに背を向けずに、ゆっくり後ずさりしてその場を離れましょう。

子グマには絶対に近づかない!

子グマの近くには親グマがいることが多く、大変危険です。子グマを見つけたときは絶対に近寄らず、速やかにその場を離れましょう。



柿の木についた爪痕
4～5本の平行線



足跡には指の跡が5本
手のひら部分は人間の大人の
ものと同程度の大きさ



木の皮を剥いだ痕



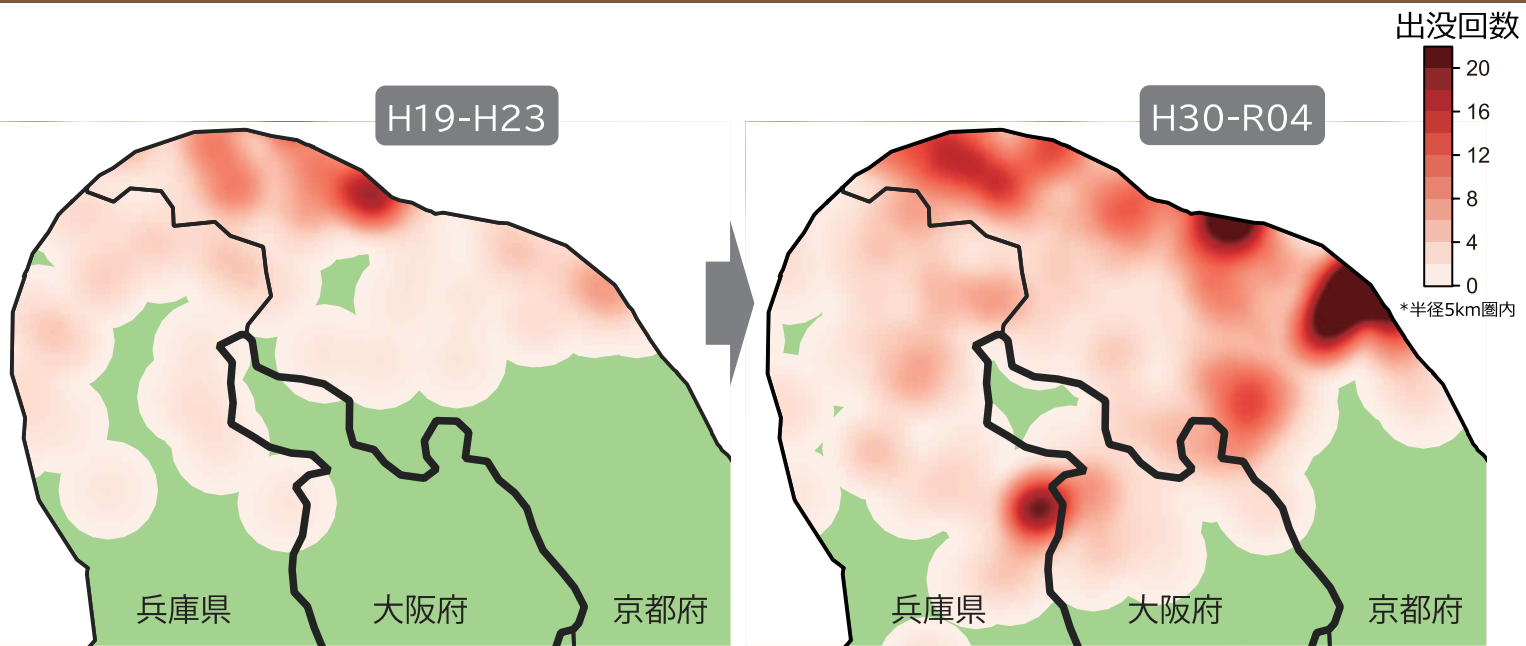
糞は不定形で繊維
や木の実の種が含まれる

ハンターの皆さまへ

ツキノワグマの目撃地域においてシカやイノシシ等を捕獲しようとする場合は、箱わなや直径12cmを超えるくくりわなの使用は控えるなど錯誤捕獲防止に努めてください。また、捕獲したシカやイノシシ等は適切に処理してください。

大阪府周辺部でのツキノワグマ出没状況

大阪府内では、ツキノワグマの定着は確認されていませんが、一時的な目撃等の情報が寄せられています。



〔解説〕 上の図は、大阪府及び府域から20km圏内における目撃や痕跡、捕獲等の情報からツキノワグマの出没状況をあらわしたものです。平成20年頃は大阪府周辺での出没はほとんどありませんでしたが、平成30年頃にかけて徐々に出没の回数が増加し、範囲も南下してきました。近年は京都府亀岡市南部や兵庫県川西市など、大阪府に近接する地域でもよく出没するようになっており、大阪府域においても警戒が必要となっています。

地方独立行政法人
大阪府立環境農林水産総合研究所
生物多様性センター

ツキノワグマの生活環と注意点

春 当年に生まれた子グマが母グマとともに行動し始めます。母グマは子グマを守ろうと攻撃的になるので、特に注意が必要です。

夏 1才半程で親離れした若いクマが大きく移動します。また、メスを求めるオスの行動範囲が広がり、通常見かけられない場所で目撃が増える傾向があります。

秋 冬に備え餌を求めて行動が活発になり、山の実りが凶作の年には、餌を求めて山から降りてくる傾向があります。また、秋に栄養を十分に摂ったメスは冬の間の子を生むことができるので、豊作の年は翌年以降の個体数増加につながるといわれています。

冬 一般的に活動が低下しますが、必ずしも冬眠はせず、生息地では冬に目撃されることもあります。

餌付け防止のお願い

- ◎ 様々な野生鳥獣による被害の発生を防ぐために、野生鳥獣に餌を与えることは止め、クマ等が出没しにくい環境づくりにご協力ください。
- ◎ 柵等で防護されていない田畑の農作物や、収穫されないままの果実、放置されたキャンプごみ等が意図しない餌付けとなることもありますので、気を付けましょう。



環境農林水産部動物愛護畜産課
〒559-8555大阪府住之江区南港北1丁目14-16さきしまコスモタワー23階
電話番号06(6210)9619 ファクシミリ番号06(6613)6276
メールアドレス dobutsuaichiku-g04@sbox.pref.osaka.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.osaka.lg.jp/doubutu/yaseidoubutu/>